

(別紙4(2))

事業所名 : 生協グループホーム安謝

作成日 : 令和 2 年 1 月 22 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	6	・身体拘束等の適正化についての、会議と議事録の整備と、職員への周知徹底が不十分。	・議事録にて記録をしっかりと行う。 ・運営推進会議にて、議事録に沿って、取り組みについての説明を行う。	・身体拘束についてのスタッフ間での協議内容の詳細を議事録として整備し、運営推進会議にて、取り組み及び経緯を説明する中で、第三者との情報交換から、ホームでの取り組みへのフィードバックを行う。 3か月
2	3	・運営推進会議の議事録の整備工夫の足りなさや、委員への議事録配布が十分にされておらず、情報交換のツールとしての役割を十分には果たせていない。	・議事録にて記録をしっかりと行う。 ・会議メンバーへの議事録配布を確実にを行う。	・運営推進会議の議事録については、参加者の意見交換の内容を詳細に記録する。 ・会議開催の際に、前回の会議内容についての議事録を配布し、簡単に前回内容についての確認を行う。 1か月
3	35	・地域住民の参加、協力に基づいた、昼夜想定避難訓練が未実施。 ・災害時の備蓄内容が十分ではない。	・昼夜想定避難訓練を計画する。 ・備蓄体制を整え、必要物品の内容を検討し、チェックリストを作成する。	・昼、夜を想定した年2回の訓練を実施する。 ・チェックリストを基に備蓄物品を揃え、実際に救助が届くまでとされる数日間(最低3日間)に備える。 3か月
4				か月
5				か月

注)項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。